

# スクールバス消毒作業の流れ

## 目 次

1. 消毒品の準備
2. 84 消毒原液の希釈
3. 車内サービス施設と重要な部分の消毒
4. 地面消毒と清潔
5. 車両の通風
6. 空調フィルタ消毒洗浄
7. 消毒液の使用及び保管に関する注意事項

## スクールバス消毒作業の流れ

1. 運転者は車に付属する消毒スプレー、84 消毒液、無洗型手洗い消毒液、ゴム手袋、医療用マスクなどを使って、消毒計画に基づいて毎日車両を全面的に消毒します。
2. 84 消毒液は希釈してから使用できます。一般的に希釈濃度は 1:500 または 1:200 で、浸漬時間は 10-30 分です。
3. 手袋を着用して 84 消毒希釈液を使ってハンドル、スイッチボタンなどのよく接触部分と乗車児童・生徒が接触しやすい座席、手すりなどの車内施設を拭く。
4. 84 消毒希釈液を使って地面に吹きかけ、地面を消毒します。
5. 車両の内外をきれいに消毒して、最後に窓を開けて、車内の通風を維持し乾燥させ、多くの人が集まることを避けます。

6. 車内のエアコンフィルターは毎週一回消毒してください。エアコンフィルターは有効塩素濃度 250 mg/L-500 mg/L の塩素消毒剤を含んで 30 分後に清水で洗浄して、干してから使用します。
7. 84 消毒液は他の洗剤と消毒液と混合して使用することが禁止されています。安全な場所に置いて、乗車する児童・生徒が触れないようにしてください。